

スマホアプリで何度も訪れたいくなる商店街に


訪れたいくなる商店街へ——郊外型大型店の進出で苦戦を強いられることが多い地元の商店街にとって非常に重要なテーマだ。

こうした状況下にあって、日本最古の商店街の1つである山口県山口市の山口道場門前商店街振興組合では、「もっともっと楽しい商店街へ」と、各店の情報発信やイベントなど魅力的な商店街づくりに

精力的に取り組んでいる。

例えば、子育て世代を支援する策としては、商店街に託児所を設け、顧客のPCやスマートフォンから予約を可能とした。さらに預けた子供の様子をスマートフォンから見守ることができる。

また、スマートフォンで参加するスタンプラリーシステムを開発。端末を振るとスタンプを獲得できるお店のヒントが表示

業種	商店街
活用分野	顧客サービス強化、販促
テクノロジー	Bluetooth、アプリ、SNS
端末	スマートフォン 

され、来店するとBluetoothを經由してスタンプを獲得できる。ネットから店舗へ誘導し回遊性を向上させるO2O (Online to Offline)の取り組みである。

利用者からは「子供の様子を確認しながら買い物できて安心」「日頃入らない店舗へ行けて楽しかった」などの感想が寄せられている。

また、顧客がFacebookなどで知り合った「友達」に商店街の商品をギフトとして送れる「Giftee」サービスも活用。商店街を通じた顧客同士のコミュニケーションを推進する仕組みも取り入れた。

同商店街を中心に山口市には7つの商店街があり(「山口街中」、地域全体の活性化に努めている。モバイルITはこの動きにさらに寄与することだろう。

図 子育て世代への支援

